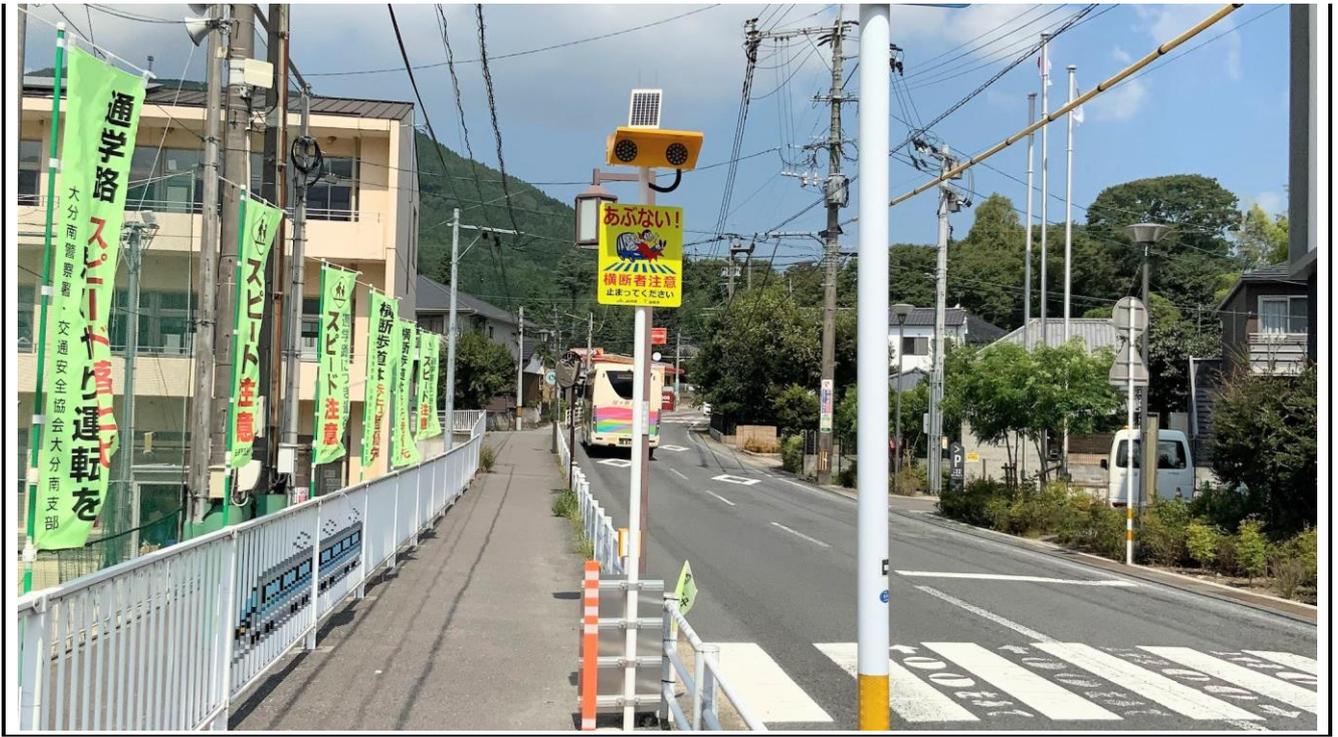


## 視察・研修報告書

視察者	原田真光
日時	令和6年9月8日（日）10時40分～11時20分
場所	大分県由布市由布院小学校前
テーマ	横断者注意喚起灯について
対応者 (講師)	なし
概要	
<p>1. 大分県由布市について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大分県のほぼ中央に位置し、人口は約 32,000 人、面積は 319.32 km<sup>2</sup></li><li>・ 温泉地として有名な湯布院温泉がある一方、県庁所在地である大分市のベッドタウンとしての性格も併せ持つ</li><li>・ 近年のインバウンド需要に依り海外旅行者が増加している</li></ul> <p>2. 横断者注意喚起灯の概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 横断者注意喚起灯は信号機に似た設備でポールにセンサーと信号機に似たライトがある</li><li>・ 細かな仕様は製品に依り異なる</li><li>・ 横断者が押しボタン式に似た装置のセンサーを手等で反応させると、上部にあるライト(黄色)が点滅する</li><li>・ ライトは車道に対して平行に設置されており、車の運転者がライトの点滅を視認できる</li><li>・ 横断者はセンサーを反応させてライトを点滅させて車の運転者に知らせる</li><li>・ センサーは速やかに反応して、ライトの点滅時間は約 18 秒(設定に依り変更可)</li><li>・ 信号機に比べて設置が安価</li><li>・ 歩道の幅員が狭く信号機が設置できない箇所にも横断者注意喚起灯は設置可</li><li>・ 道路管理者である自治体独自に設置可</li></ul> <p>3. 設置の目的について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置場所は由布院小学校前の既存の横断歩道</li><li>・ 横断歩道がある道路は片側一車線で小学校側には歩道とガードパイプがあるが、反対車線には歩道はなし</li><li>・ 小学校の横断歩道付近には図書館等がある市庁舎やコンビニエンスストアあり</li><li>・ 横断歩道には信号機は設置されていない</li><li>・ 由布院小学校は JR 久大本線由布院駅から 100 メートル以内にあり、車の往来が多い</li><li>・ 近年のインバウンド需要に依り、交通量や歩行者が増加している</li></ul>	

#### 4.参考資料

現地で撮った写真データを以下に掲載する





1,2 枚目は横断者注意喚起灯本体



3 枚目はセンサー



4 枚目は横断歩道付近の様子



5 枚目はライトの点滅の様子

## 所感

横断者注意喚起灯はまだ設置されている箇所は少ないものの、全国的に設置を始めている自治体が増加している。大分県由布市は人口は大野城市よりも少ないものの、湯布院温泉という観光名所があり近年はインバウンド需要に依り外国人観光客が増加して、交通渋滞や事故が発生しやすい状況にある。市街地は幅員が狭い道路が多く、対策が必要な箇所が散見された。由布院小学校前に導入された横断者注意喚起灯は特に小学生の登下校時の安全確保のために設置されたようだが、地元の方や観光客にも十分に効果があると感じられた。実際に横断者として使用してみると、センサーの形状は歩行者信号の押しボタン式の物と似ており、初めての方でも戸惑うことは少ないだろうと感じた。センサーが反応してからは速やかにライトが点滅し、点滅時間も幅員からすると子どもや年配の方でも安心して渡れる時間だった。ドライバーとしては横断者注意喚起灯のライトの視認性も良く、対向車線が渋滞している時に横断歩道を渡ろうとする人がいることをライトで気付けるのは大きなメリットだと感じた。実際に確認はしていないが、夜間に黒っぽい服を着た歩行者は運転手から発見が遅れることがあるが、ライトの点滅で同様のメリットがあるだろう。自治体独自で設置でき、かつ信号機に比べて安価な費用で設置できるので本市でも今後の設置を期待したい。

—作成者 原田真光—